

新たな出会い *勤労青年のつどい*



談笑しながらの食事

次代の担い手となる若い男女を集めての「勤労青年のつどい」が、町の主催で11月17日に開かれました。参加した30余名の青年たちは、新たな出会いに胸をはずませ、ゲームや談笑に意欲深い一日を過ごしました。



この語らいが、愛の芽生えとなるケースも

歌壇

向後 泰治

筆置けば墨の匂ひす夜々に
書を習ひをりやすらぎのごと

齊藤 要

定年は間近かとなれど心こめ
来年の企画練りをり日々を

齊藤 幸子

一塊の土を握りて輻輳ひく
ひたすらに瞳を据えたる夫が

那須 清江

最上川の源流にいま吾は佇ち
双竜の滝落つるを見たり

萩原 信一

サンダルも偏りて減る病む足を
かばひ歩むか習ひとなりて

吉岡 信子

自転車の湧きてくるがに群をな
す成都の街の朝のひととき

秋葉 とく

兄逝きて疎遠となりし里の家
み祖の墓が夢に頭ちきぬ

掛川 友代

絹肌のほくりと裂けて蒸しあが
る新じゃがはいま匂ひたてつつ

北田 ふじ

勝浦の山にのぼりてゆくりなく
茂吉の歌硬の建つを知りたり

海保 きみ

興わきて字典くりつつ歌詠めば
短夜はすでに十二時を過ぐ

鈴木 サツ

学ぶこと離れて久し持つペンに
忘れし文字のあまりに多し

宇井 勇

身を挺し難を救ひし君は逝き
助けられしは名乗りても来ず

(選者) 齊藤つね子

せんざいが食べたしなとねだる
夫嫁がせし娘のことには触れず

私のひとこと



例年11月上・下旬を基準として文化祭と農業祭とが、各々期日を異にしなから、文化会館を拠点とし展開されます。両者間の内容に少からず共通点が見出せる現況から、共催化の実現を期待しておられる町民の方々も多いのではないかと思います。

しても、前向きな姿勢を持つて構想を樹てている現況です。来年度は、是非とも多年の宿願でもあります共催実現に向つて検討を重ね、「文化産業祭」? とも呼称を変え、老若男女あらゆる階層を網羅した、町を挙げてのコミュニケーションの場として盛大に開催し、明るい横芝の町づくりのステップとされますよう、望んでやみません。

文化祭・農業祭の 共催実現への提言

土屋嘉彦(牛熊)

可能ではないかと思ひます。現に、農業祭におけるメーンの一つでもあります農産物共進会の開催日の変更については、担当部会であります私共園芸部会と

